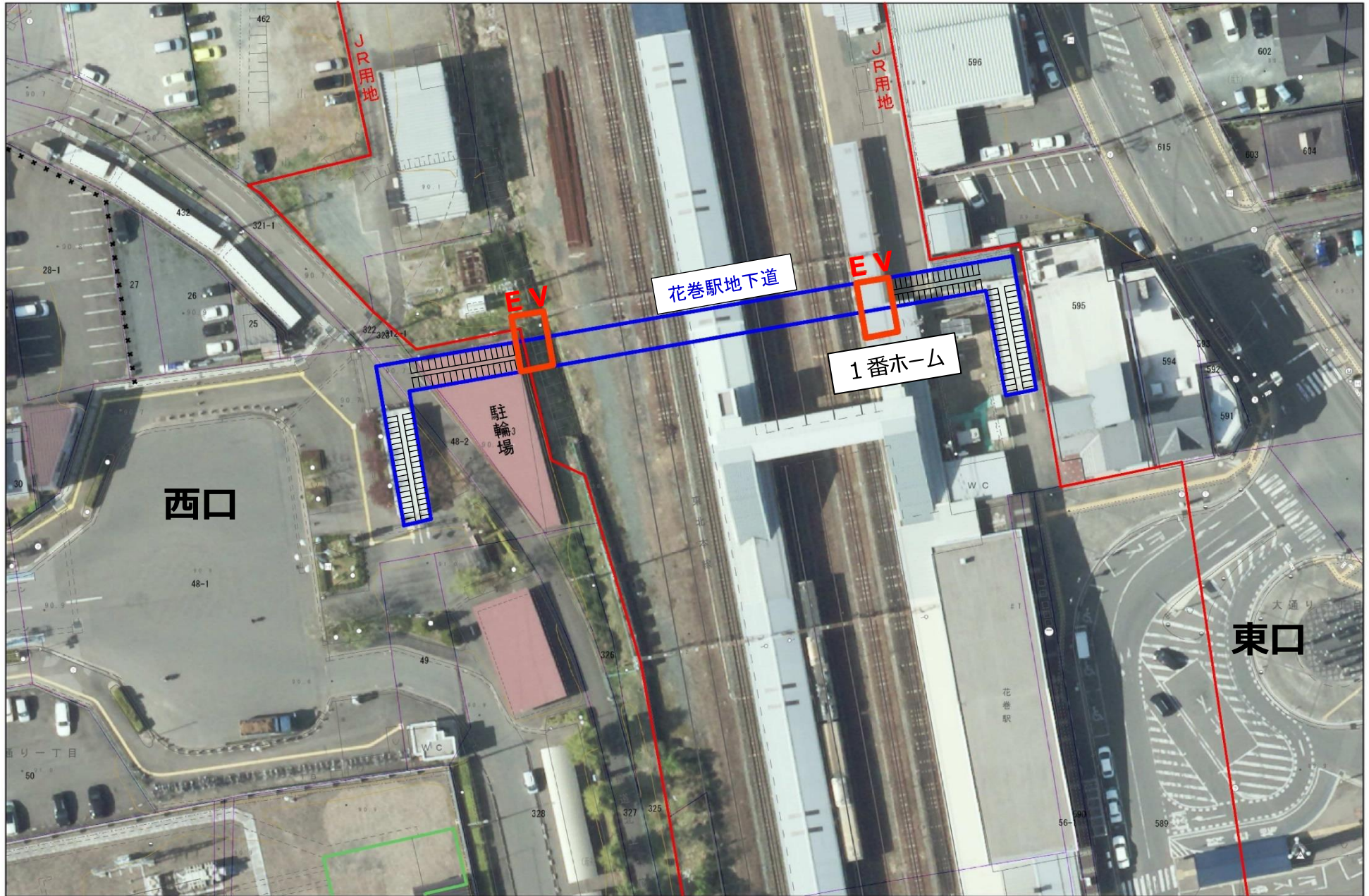


# 花巻駅公共地下道のバリアフリー化（エレベーター設置）の検討（1）



# 花巻駅公共地下道のバリアフリー化（エレベーター設置）の検討（2）

花巻駅公共地下道のバリアフリー化（エレベーター設置）について、東側は地下道を延長しない限りエレベーター設置位置が花巻駅ホーム上となるため不可能であり、西側の必要用地の確保、多額の建設費、工事期間中の通行止めによる影響などを考慮すると現実的ではない。

## ①エレベーター設置位置

エレベーター設備は、最下段の平坦な通路部分に接続する必要があるが、東側の端は1番線ホーム上と上下に重なり、この位置では設置することができない。

設置位置の検討やそれに伴う地下道の延伸及び掘削などの整備費用算出などの調査が必要となる。

## ②地下道の距離延長

東側は現在の地下道に直接エレベーターを接続することができないため、調査により計画される設置位置までの通路を掘削等により新たに設けることとなり、地下道の距離が長くなる。

## ③多額な整備費用

大規模な掘削工事が想定されるとともに、エレベーターの計画位置によっては、民地買収費用も考えられることから、整備に多額の費用がかかる。

## ④ 工事期間中の地下道の閉鎖

工事期間中は、長期間地下道を通行止めにする必要があり、その間は、北側の愛宕跨道橋をくぐるか、南側の万代橋を通るなど大きく迂回することとなり、通勤通学者等の地下道利用者に長期間にわたり相当な不便を強いることとなる。

## ⑤ 西口の利便性向上が図られない

駅西側の地域の方は、東口の改札口を使用する必要があり、西口から直接改札口に至るような橋上駅・半橋上駅の効果을期待できない。